

『*medicina*』 第57巻 総目次

2020年 第1号～第13号

(数字は頁数, ()は号数を示す.)
(4号(増刊号)は11頁以降に掲載.)

【特集】

■ 今の流れに乗り遅れない！ プライマリ・ケアでの 呼吸器疾患の診かた・薬の使いかた

〈対 談〉

激変する呼吸器診療にどう対応するか
……………和足 孝之・中島 啓 10(1)

〈今の時代の呼吸器薬〉

呼吸器薬の基本……………飛野 和則 18(1)

咳嗽の診かたと薬剤の使いかた
……………牧野 英記 22(1)

呼吸器疾患におけるステロイドの使いかた
……………長野 宏昭 26(1)

使いこなそう！ 吸入デバイスの使い分け
……………白木 晶 32(1)

知っておくと役に立つ！ 呼吸器症状に対する
漢方薬の使いかた……………南澤 潔 36(1)

呼吸器診療で用いる緩和ケア薬の使いかた
……………廣橋 猛 40(1)

〈最新の肺炎診療の考えかた〉

市中肺炎治療—治療薬選択のための検査・考えかた
……………福山 一 46(1)

市中肺炎の外来治療における経口抗菌薬の選択
……………鈴木 大介 50(1)

市中肺炎で非定型病原体をカバーする治療を
検討すべき場合……………櫻井 隆之 58(1)

医療介護関連肺炎(NHCAP)の治療—日本と欧米の
考えかたからグラム染色の意義まで
……………桂田 直子 62(1)

院内肺炎・人工呼吸器関連肺炎の治療—国内外の
ガイドラインと実臨床での考えかた
……………進藤有一郎 66(1)

肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチンの最近の
考えかた……………山藤栄一郎 72(1)

〈肺抗酸菌症診療—ここがポイント〉

知っておくべき結核治療……………南宮 湖 78(1)

肺非結核性抗酸菌症の治療……………森本 耕三 84(1)

〈気管支喘息とCOPD診療の「今」〉

喘息とCOPDの診断のコツ—気管支喘息とCOPDの
オーバーラップ(ACO)も含めて
……………伊狩 潤・川田奈緒子・巽 浩一郎 88(1)

気管支喘息の安定期に用いられる薬剤と使いかた
……………小須田 彩・中込 一之 92(1)

気管支喘息急性増悪への対応……………渡辺 徹也 96(1)

難治性喘息への対応—生物学的製剤・気管支サーモ
プラスチックの適応……………出雲 雄大 102(1)

COPD 安定期の最新治療……………丸毛 聡 106(1)

COPD 増悪への対応……………田辺 直也 110(1)

〈肺がんと間質性肺炎の最新事情〉

特発性間質性肺炎の診断と治療—分類から専門医紹介
の基準まで……………宮本 篤 114(1)

間質性肺炎に対するステロイド・免疫抑制薬の
使いかた……………根井雄一郎 118(1)

見逃さない！ 薬剤性肺障害の診断と治療
……………伊藤 博之・吉見 倫典 126(1)

肺がんの最新治療—薬剤のオーバービューと
注意すべき副作用……………中原 義朗 130(1)

〈覚えておきたいその他の疾患〉

重症肺炎・急性呼吸窮迫症候群(ARDS)の薬物療法
……………坂本 慶太・泉 信有 134(1)

サルコイドーシスの診断と治療
……………田中 健介 138(1)

好酸球性肺疾患の診断と治療……………鶴野 広介 142(1)

肺高血圧症の診断と治療
……………関根亜由美・重田 文子 148(1)

■ 臨床に役立つ解剖・生理学

〈対 談〉

臨床に役立つ解剖・生理学
……………植西 憲達・南 太郎 200(2)

〈神経〉

局在診断に有用な神経解剖学
……………安藤 孝志・勝野 雅央・吉田 眞理 206(2)

脳梗塞を深く診るための神経解剖学
……………秋口 一郎・山本 康正 214(2)

脳血流・脳血管障害の生理学……………太田 友 223(2)

脳圧の生理学……………岡田 和也・牧野 淳 228(2)

〈呼吸〉

胸部画像を読むために重要な解剖学
……………谷 直樹 232(2)

人工呼吸器を使いこなすための生理学
……………石塚あずさ・則末 泰博 238(2)

低酸素血症の生理学
……………富永 聡・植西 憲達 247(2)

高二酸化炭素血症の生理学……………松山 匡 252(2)

〈循環〉	
心エコーで役立つ解剖学……………金光 陽子	256(2)
心臓の血流に関する解剖学……………大竹 弘隆	264(2)
体循環の生理学……………山崎 啓一・田邊 翔太	270(2)
心拍出の生理学……………神宮司成弘	276(2)
ショックの生理学	
……野浪 豪・伊藤 次郎・瀬尾龍太郎	281(2)
心不全の生理学……………清水 宏康	286(2)
心電図と不整脈の生理学……………若林 禎正	290(2)
〈体液と腎臓〉	
腎臓の生理学……………岸 誠司	297(2)
体液区分と浮腫の生理学—毛細血管網の水分移動と	
腎でのナトリウム貯留……………柴崎 俊一	304(2)
水とナトリウムの調節の生理学—低ナトリウム血症	
では何が起きているのか?……………植西 憲達	308(2)
カリウムの調節の生理学……………都築誠一郎	313(2)
酸塩基平衡の生理学……………日比野将也	318(2)
〈消化器〉	
解剖の知識が重要な救急消化管疾患	
……………横山 智至	326(2)
栄養吸収の生理学……………片山 政伸	332(2)
〈内分泌〉	
糖代謝の生理学—糖の消化・吸収からエネルギー利用・	
貯蔵の流れに沿って……………金森 真紀	338(2)
甲状腺の生理学……………竹内 元規	344(2)
副腎の生理学……………高岸 勝繁	348(2)
〈血液, 免疫〉	
止血の生理学……………中島麻梨絵	353(2)
感染に対する抵抗性の生理学—微生物に対してどう	
戦う? 免疫が障害されると何に感染しやすい?	
……………中西 雄紀・豊嶋 弘一	360(2)

■ 症状・治療歴から考える 薬の副作用の診断プロセス問題集60題

〈座談会〉	
薬による副作用(有害事象・有害反応)をどう回避するか?	
……北 和也・宮田 靖志・小澤 芳	422(3)
〈総論〉	
薬物有害事象, 薬物有害反応に対処する—リスクのない薬はない! 慎重投与のすすめ	
……………宮田 靖志	430(3)
〈症例問題〉	
6年前からやる気が出ない感じが続く 64 歳女性	
……………宮田 靖志	437(3)
3カ月前からの倦怠感を訴える 55 歳男性	
……………松浦 武志	439(3)
倦怠感が続く高校3年生……………池田 啓浩	441(3)
全身倦怠感を訴える定期外来通院中の慢性肺炎患者	
……………小比賀美香子	443(3)

体重が増えない9歳男児……………上松 東宏	445(3)
風邪を引いたら熱が続く 68 歳男性	
……………雨森 正記	447(3)
3日前からの発熱と紅皮症を主訴に受診した 70 歳	
女性……………松浦 武志	449(3)
周期性発熱の精査目的に紹介された 66 歳女性	
……………高瀬 啓至・志水 太郎	451(3)
原因不明の発熱と乾性咳嗽が続く 23 歳男性	
……………小澤 芳	455(3)
浮腫に悩まされている 76 歳男性	
……………木村 琢磨	459(3)
両下腿浮腫のある 76 歳女性……………中川 紘明	463(3)
4日前から下腿浮腫が出現した 72 歳男性	
……………平塚佑太郎・川口 篤也	465(3)
CO ₂ ナルコーシスを繰り返す 75 歳女性	
……………野溝 崇史・和足 孝之	467(3)
重症遷延性低血糖による意識障害をきたした 89 歳	
女性……………草野 晋平・永井 友基	469(3)
一過性意識障害を繰り返す 86 歳女性	
……………木村 琢磨	471(3)
急な意識障害を呈した 59 歳男性	
……………佐田 竜一	474(3)
鎮静から目覚めない透析中の 56 歳男性	
……………萩谷 英大・小比賀美香子	478(3)
喘鳴が改善しない 47 歳女性……………濱口 杉大	482(3)
呼吸苦が続く 31 歳女性……………山田 康博	485(3)
肺化膿症の再発で入院した 86 歳男性	
……………奥村光一郎・綿貫 聡	487(3)
インフルエンザ後から動悸が続く 94 歳女性	
……………矢吹 拓	489(3)
ドキドキして寝つきが悪い 64 歳の男性	
……………尾原 晴雄	491(3)
消化器症状, 体重減少, 歩行障害を主訴に受診した	
76 歳男性	
……野田 和敬・上原 孝紀・生坂 政臣	493(3)
注腸前処置中に腹痛, 嘔吐, 意識障害をきたした	
69 歳女性……………溝岡 雅文	495(3)
持続的な右季肋部痛を訴える 50 歳女性	
……………小田 浩之	497(3)
胃もたれ, 飲み込んだときの違和感がある 75 歳	
男性……………和田 恭宏・川島 篤志	499(3)
食思不振が続く 85 歳女性	
……………野溝 崇史・和足 孝之	501(3)
多関節痛と食思不振を訴える 64 歳男性	
……………山本 祐	503(3)
3日前から食事量が低下し嘔吐した 86 歳男性	
……………森川 暢	505(3)
嘔気と食思不振を主訴に紹介受診した 83 歳女性	
……………清水 郁夫	507(3)
3カ月前から食思不振, 体重減少が続く 69 歳男性	

.....會田 哲朗・濱口 杉大	511(3)
数カ月前から食思不振が続く 71 歳男性	
.....上松 東宏	513(3)
急に皮下出血と黒色便をきたした 65 歳男性	
.....山中萌奈美・永井 友基	515(3)
受診 2 日前から下痢を認めた 82 歳女性	
.....森川 暢	517(3)
心筋梗塞症になってから下痢が続く 82 歳女性	
.....板金 広	519(3)
入院中に下痢を訴える 78 歳女性	
.....岸田 直樹	521(3)
手足がつりやすくなった 74 歳男性	
.....山本 祐	525(3)
倦怠感の精査中に進行した 73 歳女性の貧血	
.....保浦 修裕・綿貫 聡	529(3)
定期採血で大球性貧血を指摘された 65 歳女性	
.....星 哲哉	531(3)
ペニシリンアレルギーと言われている 60 歳女性の 抗菌薬選択は？ ペニシリンアレルギーかどうか？ の診断プロセス.....	岸田 直樹 535(3)
2 日前からめまい・嘔気のある 30 歳女性	
.....中川 紘明	539(3)
両手足のしびれ、熱感をどうかしてくれと強く 訴える 49 歳男性.....	尾原 晴雄 541(3)
倦怠感、しびれの精査で受診した中年女性	
.....溝岡 雅文	543(3)
1 日前から発症した全身性不随意運動を主訴に来院 した 94 歳男性.....	平塚佑太郎・川口 篤也 545(3)
不眠を主訴に受診した 29 歳男性	
.....野田 和敬・上原 孝紀・生坂 政臣	547(3)
いつもよりぼーっとしている 78 歳女性	
.....山田 康博	549(3)
何か様子がおかしい 54 歳女性	
.....長谷部仁美・川島 篤志	551(3)
夜中に何か食べている 75 歳女性	
.....雨森 正記	553(3)
最近「認知症」が悪化、在宅生活が困難になり介護 施設に入居した 79 歳女性.....	北西 史直 555(3)
急に認知症になったと家族から相談を受けた 84 歳 女性.....	板金 広 557(3)
大汗をかくようになった 80 歳女性	
.....池田 啓浩	559(3)
頸部・上肢にかゆみを伴う皮疹を呈した 65 歳男性	
.....佐田 竜一	561(3)
水疱を繰り返す 40 歳女性	
.....小楠 美帆・茂木 恒俊	563(3)
両目が充血し、関節が腫れてきた 35 歳女性	
.....星 哲哉	565(3)
目の焦点が合わなくなった 44 歳男性	
.....小楠 美帆・茂木 恒俊	567(3)

「大声を出したい気持ち」になった 81 歳男性	
.....北 和也	569(3)
尿閉を起こした 91 歳女性.....	北西 史直 571(3)
右足趾痛を主訴に救急外来を受診した 67 歳女性	
.....清水 郁夫	573(3)
3 日前からの筋力低下の 69 歳男性	
.....志水 太郎	575(3)
3 カ月前から歯肉の腫脹と出血がある 50 歳男性	
.....小田 浩之	577(3)

■ デキル内科医のコンサルト—専門医が教える隠れたエッセンス

〈座談会〉	
コンサルト技術のスキルアップとその前に立ちほはかるもの	
.....徳田 安春・和足 孝之・志水 太郎	614(5)
〈コンサルトを依頼する〉	
意識障害を伴う脳梗塞を疑う場合	
.....関根 一朗	622(5)
COPD が疑われる場合	
.....西野 宏一・関 健一	626(5)
特発性肺線維症を疑う場合	
.....新津 敬之・上野 清伸・内田 純二	630(5)
結核を疑う場合.....	中島 啓・吉見 倫典 635(5)
急性心不全を疑う場合.....	田中 寿一 638(5)
心原性失神を疑う場合	
.....眞柴 貴久・水野 篤	642(5)
消化管出血を認める場合.....	岡本 武士 646(5)
肝酵素異常を認める場合.....	岡本 武士 649(5)
検尿異常を認める場合.....	須藤 航 652(5)
低カリウム血症を認める場合.....	須藤 航 655(5)
1 型糖尿病を疑う場合.....	山本かをり 658(5)
糖尿病患者の血糖管理.....	辻本 哲郎 664(5)
Parkinson 病を疑う場合.....	山本 大介 670(5)
片頭痛を認める場合	
.....二村 明德・兼元 みずき・小野賢二郎	673(5)
特発性末梢性顔面神経麻痺(Bell 麻痺)を疑う場合	
.....藤原 崇志	676(5)
良性発作性頭位めまい症を疑う場合	
.....佐藤 進一・藤原 崇志	679(5)
急性緑内障発作を疑う場合—この症例は「らしい？」 「らしくない？」.....	能美なな実 682(5)
溶連菌感染症後反応性関節炎を疑う場合	
.....陶山 恭博	686(5)
ミルク・アルカリ症候群を疑う場合	
.....陶山 恭博	690(5)
薬疹を疑う場合.....	照井 仁 695(5)
原発不明がん(潜在性乳癌)を疑う場合	
.....伊藤 亮治	698(5)
うつ病を疑う場合.....	高尾 碧 702(5)

悪性リンパ腫疑いの場合……	佐藤 淑	706(5)
リンパ節腫脹を認める場合……	牧山 純也	710(5)
急性大動脈解離を疑う場合……	真鍋 晋	714(5)
右下腹部痛を主訴とする急性腹症		
……	佐藤 武揚	718(5)
足関節捻挫/骨折を疑う場合―圧痛点を極めよう！		
……	藤井 達也	724(5)
高齢者の脊椎圧迫骨折を疑う場合		
……	宮川 慶	728(5)
未破裂脳動脈瘤を疑う場合……	壽美田一貴	732(5)
女性の腹痛―コンサルトのコツと落とし穴		
……	柴田 綾子	736(5)
排尿障害のマネージメント依頼		
……	水流 輝彦	742(5)
乳幼児の尿路感染症を疑う場合		
……	倉橋 幸也	746(5)
〈コンサルトを依頼されたら〉		
ポリファーマシーのコンサルタント依頼を受けたら		
……	野溝 崇史	750(5)
食べられない高齢者のコンサルタント依頼を受けたら		
……	野溝 崇史	754(5)

■ 教えて！ 健診/検診“ホントのところ”―エビデンスを知り、何を伝えるか

〈対 談〉

健診/検診が抱える問題

……	岡田 唯男・南郷 栄秀	812(6)
----	-------------	--------

〈健診/検診の理解を深める〉

スクリーニング、健診/検診、人間ドック―正当化されるために必要な基準……	宮崎 景	820(6)
なぜ正常範囲ではなく“基準範囲”なのか―“異常”は本当に異常なのか？		
……	佐藤 正一・市原 清志	827(6)

健診の判定基準とその根拠……	林 務	833(6)
----------------	-----	--------

【コラム】「健診」のエビデンス

……	岡田 唯男	838(6)
----	-------	--------

〈健診でよく実施される項目〉

実施すべき問診と身体診察……	松村 真司	840(6)
血算……	西川 真子・矢富 裕	844(6)
脂質……	周東 佑樹	848(6)
血糖値……	大久保佳昭	854(6)
尿検査……	三野 大地・上田 剛士	860(6)
肝酵素(AST, ALT)、膵酵素(アミラーゼ、リパーゼ)……	森 英毅	867(6)
腫瘍マーカー(CEA, CA125, CA19-9, AFP, PSA)……	末廣 寛	871(6)
血清反応その他(RF, 抗 CCP 抗体, 抗核抗体, CRP, ESR)……	奥村 信人・萩野 昇	876(6)
甲状腺検査(甲状腺機能, 甲状腺エコー)……	吉村 弘	882(6)

心電図検査……	近藤 秀和・高橋 尚彦	887(6)
胸部 X 線検査……	鶴木 友都・吉野 俊平	894(6)
腹部エコー……	小川 真広	900(6)

〈特定の疾病を見つけるための検診〉

メタボリックシンドローム健診―特定健康診査・特定保健指導……	齋藤さやか	908(6)
--------------------------------	-------	--------

COPD 検診(質問票, スパイロメトリー)……	向原 圭	912(6)
--------------------------	------	--------

CKD 検診(尿検査, 血清クレアチニン検査)……	高橋真由美・白井 丈一	916(6)
---------------------------	-------------	--------

認知症検診(認知機能検査)……	重松 一生	920(6)
-----------------	-------	--------

結核検診(胸部 X 線検査, IGRA)……	永井 英明	927(6)
------------------------	-------	--------

肝炎ウイルス検診(HBs 抗原検査, HCV 抗体検査)……	井上 貴子・田中 靖人	932(6)
--------------------------------	-------------	--------

HIV 検診……	菅長 麗依	937(6)
----------	-------	--------

梅毒検診(RPR 法, TPHA 法)……	菅長 麗依	942(6)
-----------------------	-------	--------

循環器検診(冠動脈 CT, ABI, 経胸壁心エコー)……	北井 豪・三好悠太郎	947(6)
-------------------------------	------------	--------

骨粗鬆症検診(DXA, QUS, FRAX®)……	中藤 真一	955(6)
---------------------------	-------	--------

脳ドック(頭部 MRI/MRA, 頸動脈エコー)……	門岡 慶介・田中美千裕	960(6)
----------------------------	-------------	--------

〈代表的な癌検診〉

大腸癌検診(便潜血検査, 大腸内視鏡検査)……	野崎 良一	964(6)
-------------------------	-------	--------

胃癌検診(胃 X 線検診, 胃内視鏡検診, ピロリ菌検診, ABC 検診)……	前北 隆雄・井口 幹崇・北野 雅之	971(6)
---	-------------------	--------

前立腺癌検診(PSA 測定)……	武内 巧	979(6)
------------------	------	--------

肺癌検診(胸部 X 線検査, 喀痰細胞診, 低線量 CT)……	関根 康雄	983(6)
---------------------------------	-------	--------

乳癌検診(マンモグラフィ, 超音波)……	島田 友幸	988(6)
----------------------	-------	--------

■ 運動・スポーツ×内科―内科医に求められるスポーツ医学とは

〈対 談〉

プロアスリートに聞く―運動・スポーツと内科的トラブルの関わり……	田中 祐貴・早狩 実紀	1050(7)
----------------------------------	-------------	---------

〈運動・スポーツ×内科 総論〉		
-----------------	--	--

プライマリ・ケア医こそ「運動・スポーツ×内科」に取り組もう……	松田 論	1058(7)
---------------------------------	------	---------

運動・スポーツのライフステージ別効果……	國友耕太郎	1062(7)
----------------------	-------	---------

競技アスリートを対象としたスポーツ内科……	田中 祐貴	1066(7)
-----------------------	-------	---------

〈外来で遭遇する運動愛好家からの声〉		
--------------------	--	--

息切れがします……	田中 祐貴	1070(7)
-----------	-------	---------

走ると咳が出ます……………金子 正博	1074(7)
疲れが抜けません……………本庄 友行	1079(7)
月経がなくなりました……………榎村 史織	1082(7)
胸が苦しくなります……………本庄 友行	1086(7)
お腹が痛くなります……………烏山 司	1090(7)
めまい、立ちくらみがあります	
……………辻本 昌史	1093(7)
頭がぼーっとします……………新美 太祐	1096(7)
血尿が出ます……………國友耕太郎	1100(7)
筋肉痛がひどい/筋肉がつりやすいです	
……………平塩 秀磨	1103(7)
風邪をひきやすいです……………清水 和弘	1108(7)
〈基礎疾患をもつ運動愛好家からの声〉	
心臓病と言われているのですがどんな運動ならしてもよいですか？……………紺野久美子	1112(7)
糖尿病の改善にどんな運動をしたら良いですか？	
—糖尿病に対する運動療法の推奨や逆に禁忌となる症例について……………原 知之	1116(7)
生活習慣病(高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病、COPD など)の改善にどんな運動をしたら良いですか？	
……………松田 諭	1119(7)
減量のために運動を始めたのですが注意点はありますか？……………上村 公介	1124(7)
食物アレルギーがあるので運動しても大丈夫ですか？……………相原 雄幸	1128(7)
〈運動愛好家にみられる健診異常〉	
健康診断で血液検査異常を指摘され受診しました	
—ALT, AST, LD, Cre, BUN など	
……………原 知之	1133(7)
健康診断で心電図異常を指摘され受診しました	
……………秋田 朋己	1136(7)
〈プライマリ・ケア医が知っておきたいスポーツ内科の知識〉	
プライマリ・ケア医が知っておきたい運動愛好家の皮膚トラブル……………大森 俊	1140(7)
プライマリ・ケア医が知っておきたい運動愛好家の耳鼻科トラブル	
……………大谷真喜子・保富 宗城	1144(7)
プライマリ・ケア医が知っておきたい月経周期とパフォーマンスの関係……………伊藤 宏一	1148(7)
プライマリ・ケア医が知っておきたいアスリートのうつ病と運動療法	
……………中島 和樹・山口 達也・三村 将	1152(7)
プライマリ・ケア医が知っておきたいスポーツ栄養の基礎知識……………長島未央子	1156(7)
プライマリ・ケア医が知っておきたい障害者スポーツと生活習慣病……………山本 満・藤本 幹雄	1160(7)
プライマリ・ケア医が知っておきたい運動愛好家の口腔内環境……………田邊 元・上野 俊明	1164(7)
ドーピング・ゼロを目指すために	

……………吉田 哲朗	1168(7)
プライマリ・ケア医が知っておきたいスポーツ整形外科との連携……………立原 久義	1172(7)

■ 真夏の診療室

〈座談会〉

沸騰する地球—気候変動に医師はどう立ち向かうべきか？

……………徳田 安春・平島 修・長谷川敬洋 1234(8)

〈総論〉

地球という患者……………高藪 縁 1242(8)

病院が被災したら……………小林 健一 1246(8)

〈熱中症〉

古典的熱中症の分類とその背景

……………三宅 康史 1250(8)

家庭医が遭遇する熱中症—軽症患者の管理

……………阪本 宗大・北 和也 1256(8)

二次救急の熱中症診療

……………寶田 千夏・矢吹 拓 1260(8)

熱中症ミミック……………河村 裕美・志水 太郎 1265(8)

〈夏に悪化しやすい症状・疾患とその予防・管理〉

夏に血圧は下がるのか？……………望月 泰秀 1270(8)

夏は血管が詰まりやすい？……………山根 崇史 1274(8)

夏の慢性腎臓病(CKD)管理は難しい？

……………寺下 真帆 1278(8)

夏の急性高血糖問題と予防的管理

—糖尿病をコントロールして「夏」を安全に

乗り切るために……………小比賀美香子 1280(8)

サンバーン……………鈴木 洋介 1284(8)

悪化しやすいアトピー性皮膚炎の夏の管理

……………中島沙恵子 1287(8)

夏に起こりやすい湿疹……………服部 友保 1291(8)

〈夏のウイルス感染症〉

ますます真夏に増えていく!？—手足口病

……………徳田 嘉仁 1294(8)

ウイルス性中枢神経疾患

……………大平純一郎・森川 暢 1298(8)

痛みを伴うウイルス感染症

—Bornholm 病, HPeV 感染症

……………栃木健太郎・小松 真成・山口 浩樹 1302(8)

〈夏の魔物—おいしい話には裏がある〉

メジャーな微生物による食中毒

……………中野 弘康 1307(8)

全国の美味しい特産品と影に潜む食中毒

……………和足 孝之・

島根大学医学部 Be a Charisma group 1311(8)

海外旅行と食中毒

……………伊東 完・岡本 耕 1316(8)

食中毒を疑ったら？—集団食中毒への対応も含めて

……………寺澤 佳洋 1320(8)

ダニ媒介感染症	忽那 賢志	1324(8)
蜂関連疾患	佐々木隆徳	1327(8)
へび咬傷	有吉 孝一	1332(8)
溺水	藤崎 修	1336(8)
海に潜む魔物たち		
……森田 喜紀・辻 紘明		1340(8)
川やプールに潜む魔物たち	兄玉 文宏	1344(8)
高山病	鹿野 颯太	1348(8)

■患者満足度の高い便秘診療

〈遠隔対談〉

注目される実臨床での慢性便秘診療

……中島 淳・尾高 健夫	1410(9)
--------------	---------

〈なぜ便秘は生命予後が悪いのか～疫学とそのメカニズムに迫る〉

なぜ便秘は治療しなければならないか

……中島 淳・冬木 晶子・大久保秀則	1416(9)
--------------------	---------

循環器疾患における便秘治療の重要性

……石山 裕介・菊尾 七臣	1422(9)
---------------	---------

腎疾患における便秘治療の重要性

……菊地 晃一・阿部 高明	1429(9)
---------------	---------

〈便秘を診断する〉

便秘症の病態	真部 紀明・春間 賢	1434(9)
--------	------------	---------

便秘の病型分類・外来での鑑別法と重症度評価

……味村 俊樹・本間 祐子・堀江 久永	1438(9)
---------------------	---------

〈便秘を治療する〉

患者満足度の高い便秘治療はどうすべきか

……中島 淳・大久保秀則	1448(9)
--------------	---------

わが国の保険診療における便秘治療のアルゴリズム

……中島 淳	1454(9)
--------	---------

便秘患者への食事指導はどうすべきか

……新妻 京子・松島 誠・黒水 丈次	1459(9)
--------------------	---------

酸化マグネシウムおよび刺激性下剤の使い方と注意点

……富田 寿彦・三輪 洋人	1466(9)
---------------	---------

分泌型下剤の使い方と注意点

——ルビプロストン, リナクロチド

……秋穂 裕唯	1472(9)
---------	---------

新規浸透圧性下剤の使い方と注意点

——ラクツロース, ポリエチレングリコール

……水上 健	1478(9)
--------	---------

胆汁酸トランスポーター阻害薬の使い方と注意点

——エロピキシバット	尾高 健夫	1485(9)
------------	-------	---------

末梢型オピオイド受容体拮抗薬の使い方

——ナルデメジンの緩和医療における位置づけ

……結束 貴臣・吉原 努・岩城 慶大	1491(9)
--------------------	---------

便秘症に対する漢方薬の使い方

……安斎 圭一	1497(9)
---------	---------

浣腸・坐薬の使い方と注意点

……佐々木 巖・佐々木みのり・増田 芳夫	1501(9)
----------------------	---------

〈さまざまなケースへの対応〉

救急外来を受診したケース

……小林 貴・竹内 一郎	1508(9)
--------------	---------

便秘型 IBS の診断・治療

……田中由佳里	1515(9)
---------	---------

妊婦・授乳婦の便秘治療

……北川 博之	1519(9)
---------	---------

小児の便秘の特徴と治療法

……清水 俊明	1523(9)
---------	---------

高齢者便秘の特徴と治療における注意点

……須藤 紀子	1529(9)
---------	---------

訪問診療での便秘治療はどう進めるか

……木村 貴純	1534(9)
---------	---------

認知症患者における便秘

……三浦 伸義	1537(9)
---------	---------

刺激性下剤依存症患者への対応をどうすべきか

……三枝 純一	1541(9)
---------	---------

向精神薬による便秘

……野口 信彦・吉田 晴久	1547(9)
---------------	---------

慢性腎臓病(CKD)・透析患者における便秘

……高島 弘至・阿部 雅紀	1552(9)
---------------	---------

Parkinson 病における便秘

……山城 一雄・服部 信孝	1557(9)
---------------	---------

〈それ、ただの便秘ですか?〉

便排出障害型便秘の診断と治療総論

……黒水 丈次	1562(9)
---------	---------

直腸知覚異常の診断と治療

……安部 達也・國本 正雄・鉢呂 芳一	1567(9)
---------------------	---------

特殊な便秘—慢性偽性腸閉塞症, 巨大結腸症,

腹部膨満症	大久保秀則	1573(9)
-------	-------	---------

■循環器診療 2020—どこまで攻めて, どこから

引くか?

〈座談会〉

これからの循環器診療戦略—各領域での進歩

……木村 剛・後藤 信哉・香坂 俊	1634(10)
-------------------	----------

〈予防医療〉

LDL は積極的に管理する! それを果たして

どこまで?	岡村 智教	1642(10)
-------	-------	----------

血圧も積極的に下げる! ただ結局そのカットオフは

どうなった?	大澤 正樹	1646(10)
--------	-------	----------

TG は良い治療ターゲットになるか?—REDUCE-IT

試験を踏まえて		
---------	--	--

……上野 高史・石松 高・山路 和伯	1654(10)
--------------------	----------

運動は体に良く, 喫煙は絶対に悪い! でも実際の

現場での指導法は?	野村 章洋	1658(10)
-----------	-------	----------

循環器予防医学の未来

……河面 恭子・渡邊 至・宮本 恵宏	1662(10)
--------------------	----------

〈心不全〉

BNP を使った心不全診断とその功罪

……川井 真・吉村 道博	1666(10)
--------------	----------

利尿薬でどこまで踏み込むか

……武井 眞	1670(10)
--------	----------

心不全慢性期の至適薬物治療を適切に導入するために

……河野 隆志	1674(10)
---------	----------

新規心不全薬—企業からの情報提供の前に知っておくべきこと	鍋田 健	1678(10)
心不全診療の未来	小保方 優	1682(10)
〈虚血性心疾患〉		
トロポニン全盛期の急性冠症候群の診断をどうするか	井上 健司	1686(10)
ISCHEMIA 試験後の安定狭心症治療—今のカテの立ち位置は？	竹中 秀・永井 利幸	1690(10)
血栓の二次予防はどこまで？—高齢化社会を迎えた日本での考え方	塩見 紘樹	1696(10)
すべての方にスタチンを？—虚血性心疾患コレステロール管理のこれから	中尾 一泰	1702(10)
虚血性心疾患診療の未来	小船井光太郎	1706(10)
〈不整脈〉		
心房細動早期発見のために—いまずべきこと、やっても意味がないこと	小田倉弘典	1710(10)
抗凝固のジレンマをどう解決するか	小川 尚	1714(10)
アブレーション治療を再考する—CABANA 試験を踏まえて	西原 崇創	1718(10)
不整脈デバイス治療の明暗	谷本耕司郎	1721(10)
不整脈診療の未来	相澤 義泰	1725(10)
〈弁膜症など構造的疾患(SHD)〉		
あらためて弁膜症患者—古典的に聴診か？ 早めに画像診断か？	中西 弘毅	1731(10)
TAVIと MitraClip®の適切な適応とは？	足立 優也・志村 徹郎・山本 真功	1734(10)
成人先天性心疾患を成人循環器領域で扱うとき	木島 康文・椎名 由美	1739(10)
〈画像診断・その他〉		
冠動脈疾患に対する画像診断—CT か？ それとも負荷検査か？	肥田 敏・近森大志郎	1743(10)
MRIを用いた心筋症の鑑別	加藤 真吾	1746(10)
心不全在宅診療の時代を迎えてEBMを考える	横山 広行	1751(10)

■ 皮疹はこう見る、こう表現する

この発疹が見られる主な疾患	1810(11)
この疾患で見られる主な発疹	1812(11)
〈皮膚病変の捉えかた〉	
皮膚病変はこう捉える—そしてこう表現する	常深祐一郎 1814(11)
〈基本の発疹を理解する〉	
紅斑	梅林 芳弘 1818(11)
紫斑	小寺 雅也 1821(11)
白斑, 色素斑	種村 篤 1824(11)
丘疹, 結節, 腫瘍	福田桂太郎 1826(11)
水疱, 疱疹	白濱 茂穂 1828(11)
膿疱	遠藤 幸紀 1832(11)
膿瘍	竹腰 知紀 1834(11)

囊腫	石塚 洋典	1836(11)
膨疹	千貫 祐子	1838(11)
鱗屑	出光 俊郎・梅本 尚可	1840(11)
痂皮	宮垣 朝光	1844(11)
びらん, 潰瘍, 亀裂	石氏 陽三	1846(11)
苔癬	鑑 慎司	1850(11)
苔癬化	益田 浩司	1852(11)
紅皮症	加藤 雪彦	1854(11)
局面	渡辺 玲	1858(11)
面皰	小林 美和	1860(11)
〈よく見る皮膚疾患を発疹レベルで理解する〉		
〈皮膚炎・蕁麻疹など〉		
アトピー性皮膚炎	伊藤 友章	1862(11)
接触皮膚炎	矢上 晶子	1866(11)
脂漏性皮膚炎	石崎 純子	1868(11)
皮脂欠乏性湿疹	乃村 俊史	1870(11)
異汗性湿疹	高山かおる	1872(11)
結節性痒疹	佐藤 貴浩	1874(11)
蕁麻疹	葉山 惟大	1876(11)
多形滲出性紅斑	渡辺 秀晃	1878(11)
結節性紅斑	遠藤雄一郎	1882(11)
〈血管・血流障害〉		
IgA 血管炎(Henoch-Schönlein 紫斑病)	池田 高治	1884(11)
慢性色素性紫斑	川上 民裕	1886(11)
凍瘡	壽 順久	1888(11)
〈水疱症・膿疱症〉		
水疱性類天疱瘡	山上 淳	1890(11)
掌蹠膿疱症	村上 正基	1892(11)
〈炎症性角化症〉		
乾癬	神谷 浩二	1894(11)
扁平苔癬	井川 健	1896(11)
〈膠原病および類似疾患〉		
エリテマトーデス	神人 正寿	1898(11)
皮膚筋炎	牧野 貴充	1900(11)
サルコイドーシス	松田 智子・神戸 直智	1904(11)
〈毛包脂腺系疾患〉		
尋常性痤瘡	谷岡 未樹	1906(11)
酒皰	山崎 研志	1908(11)
〈ウイルス感染症〉		
単純疱疹, 水痘, 帯状疱疹	渡辺 大輔	1910(11)
手足口病	久保田由美子	1912(11)
尋常性疣贅	川瀬 正昭	1914(11)
伝染性軟属腫	玉城善史郎	1918(11)
〈細菌感染症〉		
毛包炎	川上 佳夫	1920(11)
伝染性膿痂疹	吉田 和恵	1922(11)
丹毒, 蜂窩織炎	山崎 修	1924(11)

〈真菌感染症〉

足白癬……………常深祐一郎 1928(11)

癬風……………佐藤 友隆 1930(11)

〈節足動物感染症〉

疥癬……………和田 康夫 1934(11)

〈色素異常症〉

肝斑……………櫻井 直樹 1936(11)

老人性色素斑……………櫻井 直樹 1938(11)

尋常性白斑……………大磯 直毅 1940(11)

〈良性腫瘍〉

脂漏性角化症……………芦田 敦子 1942(11)

稗粒腫……………大松 華子 1944(11)

脂腺増殖症……………加藤 裕史 1946(11)

色素性母斑……………入澤 亮吉 1948(11)

皮膚線維腫……………岩澤うつき 1950(11)

〈悪性腫瘍〉

悪性黒色腫

…中村 泰大・梅田 善康・石月翔一郎 1952(11)

日光角化症, Bowen 病, 有棘細胞癌

…前川 武雄 1954(11)

基底細胞癌……………岸 晶子 1958(11)

乳房外 Paget 病……………吉野 公二 1960(11)

■ 膠原病・自己免疫疾患を「見える化」する

〈座談会〉

膠原病を「見える化」する—過去・現在・未来

…安岡 秀剛・高橋 伸典・小寺 雅也・

山野 泰彦・林 宏樹 2032(12)

〈臨床から見える化する〉

【関節リウマチ】

関節リウマチ治療薬の効果を「見える化」する

…金子 祐子 2040(12)

関節リウマチを「見える化」する…高橋 伸典 2046(12)

関節リウマチの骨破壊を「見える化」する

…平田信太郎 2052(12)

関節炎局所を「見える化」する—関節エコーと MRI

…池田 啓 2059(12)

関節リウマチに関わる医療経済を「見える化」する

…田中 榮一 2064(12)

【SLE】

SLE の管理を「見える化」する……………梶山 浩 2070(12)

SLE の腎組織を「見える化」する……………林 宏樹 2077(12)

SLE における活動性とダメージを「見える化」する

…花岡 洋成 2084(12)

【強皮症】

強皮症を「見える化」する……………安岡 秀剛 2091(12)

強皮症の疾患活動性, 皮膚硬化を「見える化」する

…白井悠一郎 2096(12)

強皮症における微小血管障害を「見える化」する

…久保 智史・田中 良哉 2102(12)

【筋炎】

自己抗体で筋炎を「見える化」する

…濱口 儒人 2106(12)

筋炎でみられる難治性間質性肺炎を「見える化」する

…五野 貴久 2110(12)

【血管炎】

血管炎を「見える化」する……………勝又 康弘 2119(12)

【自己炎症性疾患】

自己炎症性疾患を「見える化」する

…古賀 智裕・川上 純 2126(12)

〈難治性臓器病変を「見える化」する〉

間質性肺炎の局所を「見える化」する

…山野 泰彦 2134(12)

肺高血圧症を「見える化」する……………加藤 将 2139(12)

〈基礎から見える化する〉

骨関節破壊を「見える化」する

…鎗 伸弥・菊田 順一・石井 優 2145(12)

膠原病における免疫反応を「見える化」する

…藤尾 圭志 2152(12)

骨免疫で関節リウマチを「見える化」する

…山岡 邦宏 2158(12)

自己抗体の病原性を「見える化」する

…松本 功 2161(12)

体内の分子状態をマルチオミックス解析で

「見える化」する……………鈴木 勝也・竹内 勤 2166(12)

線維化をモデル動物で「見える化」する

…浅野 善英 2170(12)

GWAS から膠原病を「見える化」する

…友藤 嘉彦・岡田 随象 2177(12)

セマフォリンから膠原病を「見える化」する

…西出 真之・熊ノ郷 淳 2182(12)

■ プライマリ・ケアにおける神経症候へのアプローチ

〈座談会〉

プライマリ・ケアにおけるより良い神経診察とは

…園生 雅弘・田妻 進・黒川 勝己 2246(13)

〈総論〉

プライマリ・ケアにおける神経症候の診かたの

ポイント……………黒川 勝己 2254(13)

〈各論(症状編)〉

頭痛の診かた—くも膜下出血などの危険な頭痛,

片頭痛などの頻度の高い頭痛の鑑別ポイント

…菊井 祥二・竹島多賀夫 2258(13)

めまいの診かた—危険なめまい, 頻度の高いめまいの

鑑別ポイント……………城倉 健 2262(13)

運動障害の診かた……………園生 雅弘 2268(13)

感覚障害の診かた—脳梗塞などの危険なしびれ,

手根管症候群などの頻度の高いしびれの

鑑別ポイント……………大石真莉子・神田 隆 2272(13)

一過性意識消失の診かた—特に失神, てんかんと

その鑑別診断……………	福武 敏夫 2276(13)
意識障害の診かた—脳ヘルニアなど緊急を要する	
病態の診断ポイント……………	藤井 修一 2280(13)
痙攣・不随意運動の診かた—てんかん発作などの	
危険な痙攣・不随意運動, 筋クランプなどの頻度の	
高い痙攣・不随意運動の鑑別ポイント	
……………	吉村 元・幸原 伸夫 2284(13)
もの忘れの診かた—治療可能な認知症, Alzheimer 型	
認知症などの変性疾患による認知症の鑑別ポイント	
……………	玉岡 晃 2288(13)
歩行障害の診かた—頻度の高い歩行障害の種類と	
鑑別ポイント……………	赫 寛雄・相澤 仁志 2292(13)
複視の診かた—脳血管障害などの危険な複視,	
糖尿病性末梢神経障害などの頻度の高い複視の	
鑑別ポイント	
……………	山原 直紀・吉倉 延亮・下畑 享良 2296(13)
嚥下障害の診かた—脳血管障害などの緊急を要する	
嚥下障害, Parkinson 病などの頻度の高い嚥下障害の	
鑑別ポイント	
……………	谷口 洋・宮川 晋治・向井 泰司 2300(13)
呼吸困難の診かた—呼吸困難をきたす神経疾患の	
鑑別ポイント……………	清水 俊夫 2304(13)
〈各論(疾患編)〉	
脳卒中を疑う神経症候とその対処法	
—突然の片麻痺, 顔面麻痺, 失語, 構音障害	
……………	若林 眞子・鈴木健太郎・木村 和美 2308(13)
てんかんを疑う神経症候とその対処法	
—痙攣以外にもある発作症状	
……………	岡山 公宣・松本 理器 2312(13)
髄膜炎・脳炎を疑う神経症候とその対処法	
—どの髄膜刺激徴候を確認すべきか	
……………	亀井 聡 2318(13)
Guillain-Barré 症候群を疑う神経症候とその対処法	
—急性発症の四肢麻痺やしびれ	
……………	国分 則人 2322(13)
慢性頭痛—片頭痛を緊張型頭痛と誤診しない	
……………	清水 利彦 2326(13)
認知症—Lewy 小体型認知症を Alzheimer 型認知症と	
誤診しない……………	和田 健二 2330(13)
Parkinson 病とその関連疾患を疑う神経症候および	
対処法—振戦, 運動緩慢……………	柏原 健一 2334(13)
末梢神経障害を疑う神経症候とその対処法	
—手足のしびれ, 筋力低下	
……………	三隅 洋平・植田 光晴 2338(13)
脊椎疾患を疑う神経症候とその対処法	
—手足のしびれ, 筋力低下	
……………	伊藤 翔太・安藤 哲朗・川上 治 2342(13)
筋疾患を疑う神経徴候とその対処法	
—筋力低下, こわばり……………	砂田 芳秀 2345(13)
神経筋接合部疾患を疑う神経症候とその対処法	

—筋力低下, 疲れやすさ……………	畑中 裕己 2348(13)
筋萎縮性側索硬化症(ALS)を疑う神経症候とその特徴	
—筋力低下, 体のびくつき	
……………	和泉 唯信・福島 功二・沖 良祐 2354(13)
多発性硬化症関連疾患を疑う神経徴候とその対処法	
—突然の歩行障害, 視覚障害	
……………	越智 一秀 2358(13)

【見て、読んで、実践！ 神経ビジュアル診察】	
バランスの診方—Romberg 試験	
……………	難波 雄亮 1(1)
身体がなんだか傾く!?—前庭障害の診察	
……………	難波 雄亮 191(2)
目が回る〜!?—危ない眼振……………	難波 雄亮 413(3)
眼の位置がおかしい!?—眼球運動障害の診方①	
(外転神経麻痺)……………	難波 雄亮 605(5)
眼の位置がおかしい!?—眼球運動障害の診方②	
(動眼神経麻痺)……………	難波 雄亮 803(6)
顔が曲がる！ 病変はどこ？—顔面神経麻痺	
……………	難波 雄亮 1041(7)
うわっ!? 首が痛い！—髄膜刺激症状の診方	
……………	難波 雄亮 1225(8)
手が震える！ 本当に Parkinson 病!?	
—姿勢時振戦……………	難波 雄亮 1401(9)
手が震える！ 今度は Parkinson 病!?	
—安静時振戦……………	難波 雄亮 1625(10)
歩き方がヘン!?—痙攣性片麻痺歩行	
……………	難波 雄亮 1801(11)
歩き方がヘン!?—前頭葉性歩行	
……………	難波 雄亮 2023(12)
歩き方がヘン!?—失調性歩行……………	難波 雄亮 2337(13)

【母性内科の「め」	
妊婦・授乳婦さんのケアと薬の使い方】	
眠れないんです……………	三島 就子 380(2)

【本気で書く！ 入院時サマリー！	
患者情報, 丸見え化プロジェクト】	
なぜ“本気の”入院時サマリーなのか	
……………	徳田 嘉仁 1182(7)
既往歴を, 肉付けせよ！～コピペはダメ, ゼットタイ,	
……………	徳田 嘉仁 1380(8)
ポリファーマシー, どないしてる？	
～薬剤整理と入院時サマリー……………	徳田 嘉仁 1590(9)
入院時から退院への戦いは始まる！～最初が肝心！	
CGA !……………	徳田 嘉仁 1772(10)
Advanced Care Planning !～カルテから紐解く,	
人生の歩み……………	徳田 嘉仁 2002(11)
“本気の”入院時サマリー, 完成！	
……………	徳田 嘉仁 2192(12)

【ケースレポートを書こう！

accept されるために必要なこと】

ケースレポートにできる症例・できない症例って？	
(前編)……………見坂 恒明	762(5)
ケースレポートにできる症例・できない症例って？	
(後編)……………見坂 恒明	999(6)
文献はどう探す？	
……………隈部 綾子・見坂 恒明	1187(7)
structure の原則……………合田 建・見坂 恒明	1358(8)
倫理審査およびインフォームド・コンセント	
……………八幡 晋輔・見坂 恒明	1597(9)
英文校正……………見坂 恒明	1761(10)
投稿先の選択と投稿の実際……………見坂 恒明	1977(11)
査読の流れと“心折ポイント”	
……………八幡 晋輔・見坂 恒明	2215(12)
ケースレポート作成の障壁とは？	
……………見坂 恒明・合田 建・鎌田 百香	2366(13)

【フレーズにピンときたら、このパターン！

鑑別診断に使えるカード】

「CRP 上昇に乏しい発熱」「血圧低下のない乳酸アシドーシス」「問診や診察、通常検査で focus がわかりにくい発熱」……………長野 広之	160(1)
「肝機能低下のない高アンモニア血症」「重症感を伴う急性下痢」「食思不振を伴わない体重減少」……………長野 広之	371(2)
「原因不明の脳梗塞」「糖尿病の関与しない低血糖」「両側性顔面神経麻痺」……………長野 広之	584(3)
「CT 正常の thunderclap headache」「回腸末端炎、回盲部炎」「反復性めまい」……………長野 広之	768(5)
「HBV, HCV 陰性の肝硬変」「環境要因の少ない低体温症」「黒色胸水」……………長野 広之	1006(6)
「polyclonal gammopathy」「蛋白アルブミン逆解離」「M 蛋白関連疾患」……………長野 広之	1200(7)
「巨舌」「変動する/繰り返す意識障害」「無石性胆嚢炎」……………長野 広之	1366(8)
「リンパ節腫脹、腫瘍が目立たない悪性リンパ腫」「肢端紅痛症」「汎血球減少」……………長野 広之	1582(9)
「手掌、足底の皮疹」「全大腸炎(pancolitis)」「脾機能低下患者の発熱」……………長野 広之	1766(10)
「polyneuropathy(多発神経炎)」「sensory ataxia(感覚性失調)」「脈拍の上昇に乏しい起立性低血圧」……………長野 広之	1984(11)
「アルコール常用者のショック」「アルコール常用者の意識障害」「血小板数、凝固能正常の出血傾向」……………長野 広之	2198(12)
「慢性下痢」「持続性/難治性吃逆」「片側性眼瞼下垂」……………長野 広之	2372(13)

【物忘れ外来から学ぶ現場のコツ

認知症患者の診かた】

高齢の認知症患者さんに対応するとき留意することはありますか？……………重松 一生	167(1)
認知症診療で一番困ることは何ですか？……………重松 一生	388(2)
認知症の周辺症状が急に悪化した場合には、どうしたらよいですか？……………重松 一生	579(3)
超高齢者への治療はどのようにしたらよいですか？……………重松 一生	778(5)
認知症の“受容”をどう促したらよいですか？……………重松 一生	1014(6)
進行期の認知症対応はどうしたら良いですか？……………重松 一生	1195(7)
運転免許証更新のための診断書を依頼されたらどうしたら良いですか？……………重松 一生	1374(8)
パンデミック下の認知症診療はどうしたら良いですか？……………重松 一生	1608(9)
高齢者 2 人世帯の認知症診療はどうしたら良いですか？……………重松 一生	1784(10)
独居の場合の認知症診療はどうしたら良いですか？……………重松 一生	1994(11)
認知症診療のフィナーレ……………重松 一生	2210(12)

【目でみるトレーニング】

問題 934……………羽白 高	173(1)
問題 935……………岩崎 靖	174(1)
問題 936……………梶原 祐策	175(1)
問題 937……………羽白 高	395(2)
問題 938……………會田 哲朗	396(2)
問題 939……………梶原 祐策	397(2)
問題 940……………岩崎 靖	592(3)
問題 941……………黒田 浩一	593(3)
問題 942……………梶原 祐策	594(3)
問題 943……………黒田 浩一	783(5)
問題 944……………會田 哲朗	784(5)
問題 945……………梶原 祐策	785(5)
問題 946……………岩崎 靖	1021(6)
問題 947……………大浦 誠	1022(6)
問題 948……………小杉 俊介	1023(6)
問題 949……………岩崎 靖	1208(7)
問題 950……………黒田 浩一	1209(7)
問題 951……………大浦 誠	1210(7)
問題 952……………岩崎 靖	1386(8)
問題 953……………渡辺 徹也	1387(8)
問題 954……………陶山 恭博	1388(8)
問題 955……………岩崎 靖	1602(9)
問題 956……………増田 慶太	1603(9)
問題 957……………渡辺 徹也	1604(9)
問題 958……………岩崎 靖	1778(10)

問題	959	原田 拓	1779(10)
問題	960	田中由佳里	1780(10)
問題	961	梶川 豪・山村 健史	1970(11)
問題	962	原田 拓	1971(11)
問題	963	増田 慶太	1972(11)
問題	964	岩崎 靖	2220(12)
問題	965	陶山 恭博	2221(12)
問題	966	牧山 純也	2222(12)
問題	967	岩崎 靖	2382(13)
問題	968	久田 敦史	2383(13)
問題	969	多賀谷知輝	2384(13)

【増刊号】

■早わかり診療ガイドライン 100—エッセンス&リアルワールド

救急

1 蘇生—JRC 蘇生ガイドライン 2015	8(4)
2 急性腹症—急性腹症診療ガイドライン 2015	12(4)
3 熱中症—熱中症診療ガイドライン 2015	16(4)

感染症

4 予防接種—予防接種ガイドライン(2019 年度版)	20(4)
5 HIV 感染症—抗 HIV 治療ガイドライン	25(4)
6 敗血症—日本版敗血症診療ガイドライン 2016	28(4)
7 性感染症—性感染症診断・治療ガイドライン 2016	32(4)
8 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症—MRSA 感染症の治療ガイドライン 2019 年改訂版	35(4)
9 <i>Clostridioides difficile</i> 感染症— <i>Clostridioides(Clostridium) difficile</i> 感染症診療ガイドライン	38(4)

循環器

10 狭心症(冠攣縮性狭心症)—冠攣縮性狭心症の診断と治療に関するガイドライン(2013 年改訂版)	44(4)
11 心筋梗塞—急性冠症候群ガイドライン(2018 年改訂版)	48(4)
12 心房細動—心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013 年改訂版)	52(4)
13 高血圧—高血圧治療ガイドライン 2019	

中川 直樹・長谷部直幸	56(4)
14 心不全—急性・慢性心不全診療ガイドライン(2017 年改訂版)	
砂山 勉・末永 祐哉	60(4)
15 肺血栓塞栓症—肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断, 治療, 予防に関するガイドライン(2017 年改訂版)	65(4)
16 感染性心内膜炎—感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン(2017 年改訂版)	
奥濱 絢子・森岡慎一郎	70(4)

呼吸器

17 インフルエンザ感染症—成人の新型インフルエンザ治療ガイドライン 第 2 版	
関 由喜・菅谷 憲夫	76(4)
18 肺炎—成人肺炎診療ガイドライン 2017	
猪狩 英俊	80(4)
19 肺結核症—結核診療ガイド	83(4)
佐々木結花	
20 慢性閉塞性肺疾患(COPD)—COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン 2018[第 5 版]	86(4)
倉原 優	
21 気管支喘息—喘息予防・管理ガイドライン 2018	
山脇 聡	90(4)
22 慢性咳嗽—咳嗽・喀痰の診療ガイドライン 2019	
小川 知洋・松元幸一郎	95(4)

消化器

23 胃食道逆流症(GERD)—胃食道逆流症(GERD)診療ガイドライン 2015(改訂第 2 版)	
内藤 裕二	100(4)
24 胃/十二指腸潰瘍—消化性潰瘍診療ガイドライン 2015(改訂第 2 版)	
水野 元夫	104(4)
25 <i>Helicobacter pylori</i> 感染症— <i>H. pylori</i> 感染の診断と治療のガイドライン(2016 改訂版)	
井上 和彦	109(4)
26 感染性腸炎—JAID/JSC 感染症治療ガイドライン 2015—腸管感染症	
山本 泰正・倉井 華子	113(4)
27 潰瘍性大腸炎(IBD)/Crohn 病—炎症性腸疾患(IBD)診療ガイドライン 2016	
本谷 聡・中村 健太・杉山 浩平	117(4)
28 大腸憩室炎—大腸憩室症(憩室出血・憩室炎)ガイドライン	
水城 啓・永田 博司	122(4)
29 過敏性腸症候群(IBS)—機能的消化管疾患診療ガイドライン 2014—過敏性腸症候群(IBS)	
大武 陽一	126(4)
30 機能的ディスペプシア(FD)—機能的消化管疾患診療ガイドライン 2014—機能的ディスペプシア(FD)	
吉田詠里加・五味 邦代・黒木優一郎	131(4)

- 31 便秘—慢性便秘症診療ガイドライン 2017
……………大前 知也 135(4)
- 32 肝硬変—肝硬変診療ガイドライン 2015
(改訂第2版)……………浅見 哲史・井上 和明 138(4)
- 33 B型肝炎—B型肝炎治療ガイドライン(第3.1版)
……………八橋 弘 143(4)
- 34 C型肝炎—C型肝炎治療ガイドライン(第7版)
……………海老沼浩利 147(4)
- 35 急性膵炎—急性膵炎診療ガイドライン 2015
(第4版)……………林 大樹朗・竹内真実子 152(4)
- 36 慢性膵炎—慢性膵炎診療ガイドライン 2015
(改訂第2版)
……………酒井 利隆・越田 真介・伊藤 啓 156(4)
- 37 NAFLD/NASH—NAFLD/NASH 診療ガイドライン 2014
……………榎奥健一郎 161(4)
- 38 胆石症—胆石症診療ガイドライン 2016
(改訂第2版)……………金沢 哲広・野々垣浩二 165(4)
- 39 急性胆道炎(急性胆管炎・胆嚢炎)—急性胆管炎・
胆嚢炎診療ガイドライン 2018(第3版)
……………福島 豊実・王 孔志・久木田和夫 169(4)

腎・泌尿器

- 40 尿路結石症—尿路結石症診療ガイドライン
(2013年版)……………高山 卓・河原崎宏雄 174(4)
- 41 前立腺肥大症—男性下部尿路症状・前立腺肥大症
診療ガイドライン
……………小池 蘭美・岡村 菊夫 177(4)
- 42 過活動膀胱—過活動膀胱診療ガイドライン
(第2版)……………桑満おさむ 182(4)
- 43 尿失禁(女性)—女性下部尿路症状診療ガイドライン
(第2版)……………金城 真実 186(4)
- 44 尿路感染症(単純性膀胱炎)
—International Clinical Practice Guidelines for
the Treatment of Acute Uncomplicated Cystitis
and Pyelonephritis in Women
……………小林 真一朗 191(4)
- 45 慢性腎臓病(CKD)—エビデンスに基づく CKD
診療ガイドライン 2018……………佐々木 彰 195(4)
- 46 急性腎障害(AKI)—AKI(急性腎障害)診療ガイド
ライン 2016……………猪飼 浩樹 200(4)
- 47 ネフローゼ症候群—エビデンスに基づくネフローゼ
症候群診療ガイドライン 2017
……………竹本 文美 205(4)
- 48 IgA 腎症—エビデンスに基づく IgA 腎症診療
ガイドライン 2017……………片瀨 律子 210(4)
- 49 急速進行性腎炎症候群(RPGN)—エビデンスに
基づく急速進行性腎炎症候群(RPGN)診療ガイド
ライン 2017……………菊池 正雄 214(4)
- 50 常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)
—エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2018

- ……………林 宏樹 217(4)
- 51 成人の血尿—血尿診断ガイドライン 2013
……………中村 嘉宏・坂元 史稔 222(4)
- 52 勃起障害(ED)—ED 診療ガイドライン(第3版)
……………川西 泰夫・廣田 圭祐 225(4)

神経

- 53 細菌性髄膜炎—細菌性髄膜炎診療ガイドライン
2014……………星山 栄成 230(4)
- 54 頭痛—慢性頭痛の診療ガイドライン 2013
……………今井 昇 234(4)
- 55 脳卒中—脳卒中治療ガイドライン 2015
[追補 2019 対応]……………三瀧 真悟 238(4)
- 56 てんかん—てんかん診療ガイドライン 2018
……………高木 俊輔 242(4)
- 57 Parkinson 病—パーキンソン病診療ガイドライン
2018……………清水 崇宏・花島 律子 246(4)
- 58 認知症—認知症疾患診療ガイドライン 2017
……………武田 景敏 250(4)

内分泌・代謝

- 59 糖尿病—糖尿病診療ガイドライン 2019
……………大西由希子 256(4)
- 60 脂質異常症—動脈硬化性疾患予防ガイドライン
2017 年版……………山田 穂高・平野 勉 262(4)
- 61 肥満症/メタボリックシンドローム—肥満症診療
ガイドライン 2016……………加隈 哲也 266(4)
- 62 高尿酸血症・痛風—高尿酸血症・痛風の治療
ガイドライン 第3版
……………片岡 浩史・望月 俊雄 270(4)
- 63 Basedow 病—バセドウ病治療ガイドライン 2019
……………西原 永潤 275(4)
- 64 骨粗鬆症—骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン
2015 年版……………福本 誠二 278(4)

アレルギー

- 65 アレルギー性結膜炎—アレルギー性結膜疾患診療
ガイドライン(第2版)……………高村 悦子 282(4)
- 66 花粉症—鼻アレルギー診療ガイドライン—通年性
鼻炎と花粉症—2016 年版……………上條 篤 286(4)
- 67 食物アレルギー—食物アレルギー診療ガイドライン
2016《2018 年改訂版》……………千貫 祐子 290(4)
- 68 アナフィラキシー—アナフィラキシーガイドライン
……………関谷 潔史 295(4)

膠原病

- 69 関節リウマチ—関節リウマチ診療ガイドライン
2014……………滝澤 直歩 300(4)
- 70 全身性強皮症—全身性強皮症 診断基準・重症度
分類・診療ガイドライン

……………平野 大介・安岡 秀剛	304(4)
71 全身性エリテマトーデス(SLE)	
—全身性エリテマトーデス診療ガイドライン(2019)	
……………陶山 恭博	308(4)
72 Sjögren 症候群—シェーグレン症候群診療ガイド	
ライン 2017 年版……………國領 和佳	316(4)
73 皮膚筋炎—多発性筋炎・皮膚筋炎診療ガイドライン	
……………渡邊 剛史・藤田 芳郎	320(4)
74 ANCA 関連血管炎—ANCA 関連血管炎診療	
ガイドライン 2017……………田巻 弘道	326(4)

皮膚

75 接触皮膚炎—接触皮膚炎診療ガイドライン	
……………本田 哲也	332(4)
76 アトピー性皮膚炎—アトピー性皮膚炎診療ガイド	
ライン 2018……………中村晃一郎	336(4)
77 蕁麻疹—蕁麻疹診療ガイドライン 2018	
……………三原 祥嗣	340(4)
78 痤瘡—尋常性痤瘡治療ガイドライン 2017	
……………須賀 康	344(4)
79 褥瘡—褥瘡予防・管理ガイドライン(第4版)	
……………立花 隆夫	349(4)
80 疥癬—疥癬診療ガイドライン(第3版)	
……………伊豆 邦夫	353(4)
81 皮膚瘙痒症—汎発性皮膚瘙痒症診療ガイドライン	
……………福永 淳	359(4)
82 皮膚真菌症(足白癬)—日本皮膚科学会皮膚真菌症	
診療ガイドライン 2019……………常深祐一郎	363(4)

精神科

83 睡眠障害—睡眠薬の適正な使用と休薬のための	
診療ガイドライン—出口を見据えた不眠医療	
マニュアル……………普天間国博	370(4)
84 うつ病—うつ病治療ガイドライン第2版	
……………上野 修一	374(4)
85 アルコール/薬物関連障害—新アルコール・薬物	
使用障害の診断治療ガイドライン	
……………後藤 恵	378(4)

婦人科

86 更年期障害—産婦人科診療ガイドライン—婦人科	
外来編 2017……………岩佐 弘一	382(4)
87 月経困難症—産婦人科診療ガイドライン—婦人科	
外来編 2017……………萩原優美子・岩瀬 明	385(4)

耳鼻咽喉科

88 急性鼻副鼻腔炎—急性鼻副鼻腔炎診療ガイドライン	
2010 年版(追補版)……………高木 大	390(4)
89 末梢性めまい・良性発作性頭位めまい症	
—良性発作性頭位めまい症診療ガイドライン	
(医師用)……………小川 恭生	394(4)
90 中耳炎—小児急性中耳炎診療ガイドライン	
2018 年版……………伊藤 真人	400(4)
91 嚥下障害—嚥下障害診療ガイドライン 2018 年版	
……………金沢 英哲	403(4)
92 耳鳴—耳鳴診療ガイドライン 2019 年版	
……………南 修司郎	408(4)

整形外科

93 腰痛症—腰痛診療ガイドライン 2019 改訂第2版	
……………川口 善治	412(4)
94 ロコモティブシンドローム—ロコモティブシンド	
ローム診療ガイド 2010……………細野 昇	416(4)

その他

95 禁煙—禁煙ガイドライン(2010 年改訂版)	
……………吉井 千春	422(4)
96 高齢者の安全な薬物療法—高齢者の安全な薬物	
療法ガイドライン 2015……………木村 琢磨	426(4)
97 サルコペニア—サルコペニア診療ガイドライン	
2017 年版……………若林 秀隆	431(4)
98 フレイル—フレイル診療ガイド 2018	
……………杉本 研・楽木 宏実	436(4)
99 がん検診—有効性評価に基づくがん検診ガイド	
ライン……………小嶋 一	440(4)
100 がん疼痛—がん疼痛の薬物療法に関するガイド	
ライン 2014 年版……………新城 拓也	445(4)